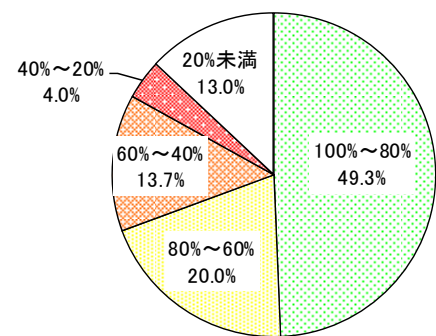


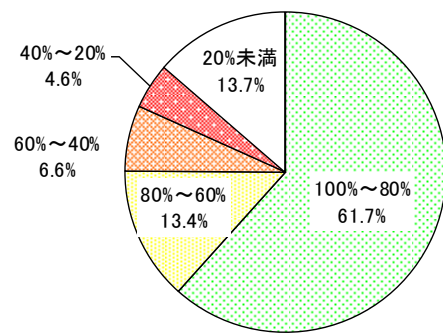


【取り組み結果:各自の目標に対する達成度】

目標達成度(テレビ)
(全体)

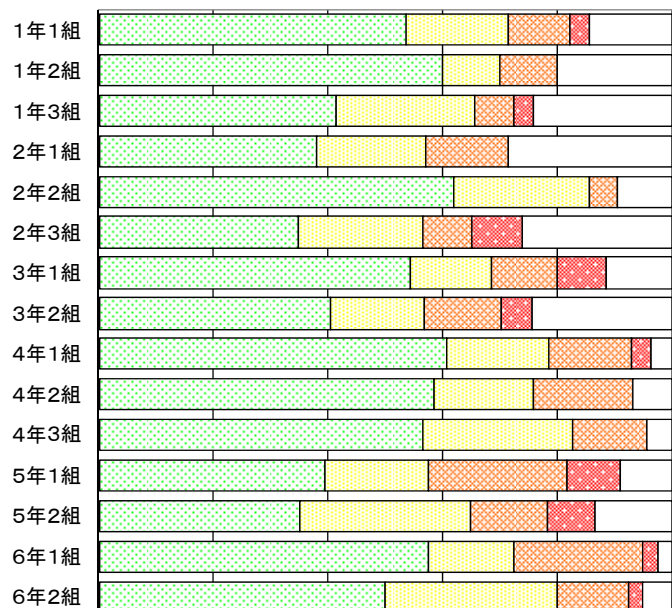


目標達成度(ゲーム)
(全体)



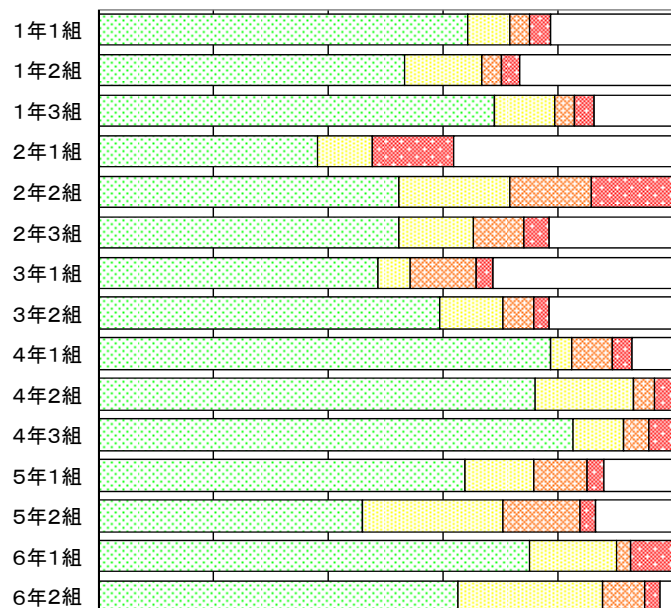
目標達成度(テレビ)

□100%~80% □80%~60% □60%~40% □40%~20% □20%未満



目標達成度(ゲーム)

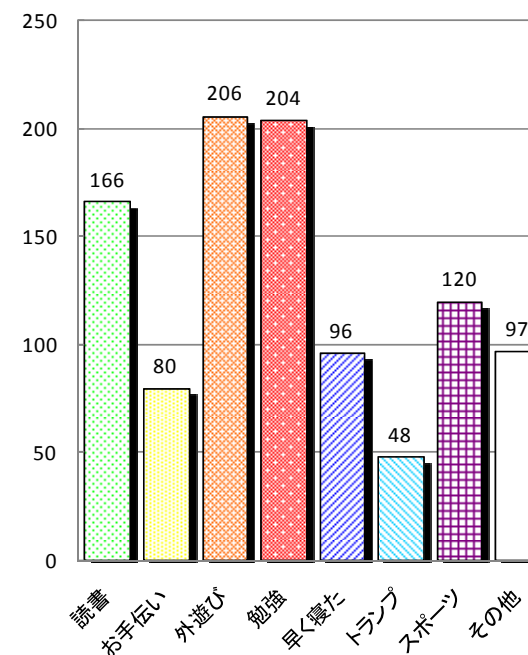
□100%~80% □80%~60% □60%~40% □40%~20% □20%未満



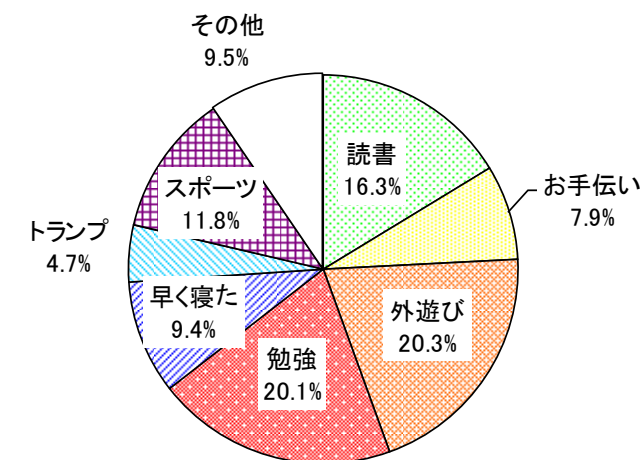
【取り組み結果:出来た時間の過ごし方】

出来た時間をどのように過ごしましたか？

単位:人

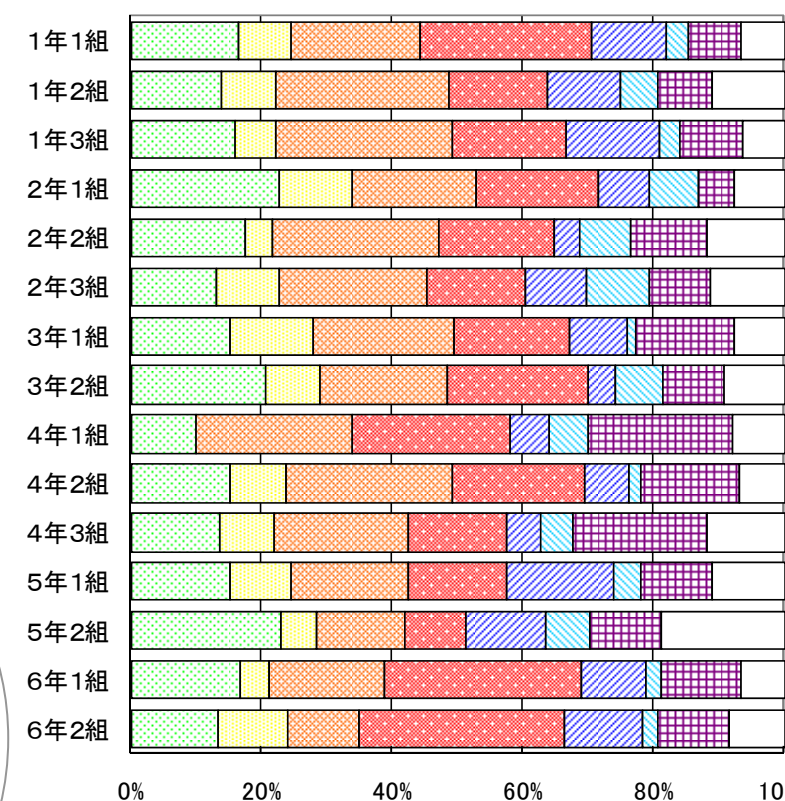


出来た時間をどのように過ごしましたか？(全体)



出来た時間をどのように過ごしましたか？

□読書 □お手伝い □外遊び □勉強 □早く寝た □トランプ □スポーツ □その他

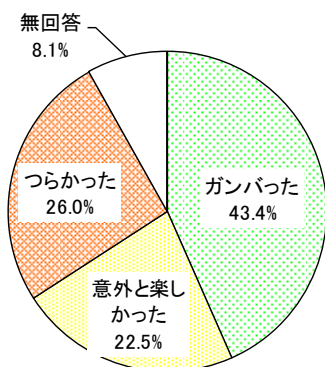


○各自が設定した目標に対して、できた日数が以外と低いようです。特にテレビの時間は難しかったようです。
○家族がテレビを見ていても、つられてテレビを見ないようにする自主性をつけるようにしたいものです。
○平日と休日で目標が同じというのが難しかったようです。

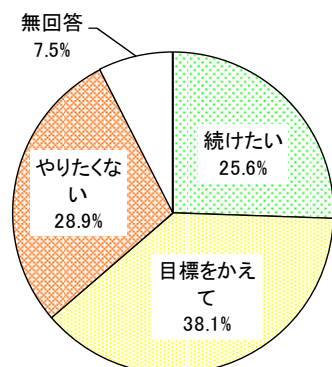
○外遊び、勉強、読書の順に、出来た時間を使ってくれた児童が多かったようです。
○親子で読者やゲームなど、これまであまりなかった家族での時間の過ごし方ができたこともよかったようです。
○今年は図書を増設したので、もう少し読書が増えるといいですね。

【取り組み後の児童の感想】

児童：やってみてどうでしたか？
（全体）

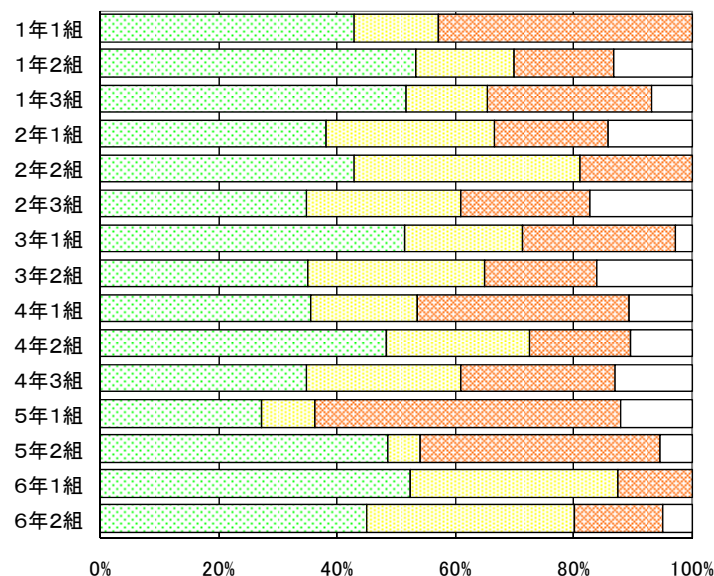


児童：これからも続けたいですか？
（全体）



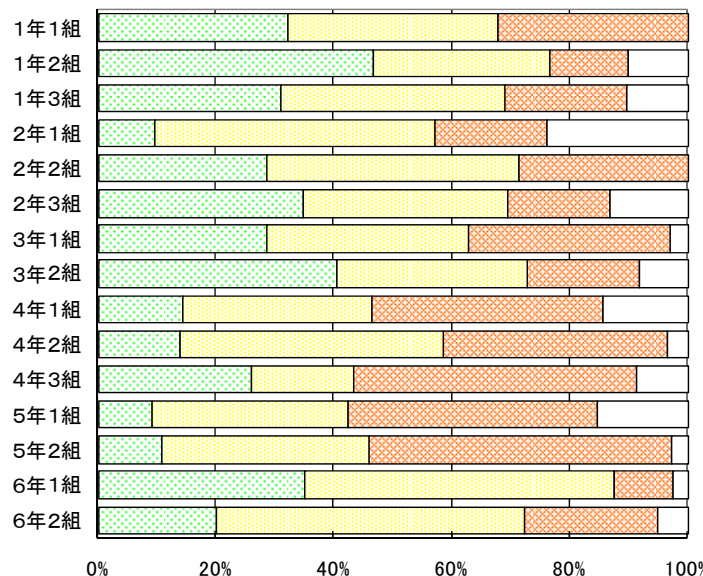
児童：やってみてどうでしたか？

□ガンバった □意外と楽しかった □つらかった □無回答



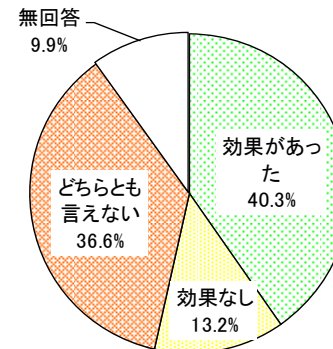
児童：これからも続けたいですか？

□続けたい □目標をかえて □やりたくない □無回答

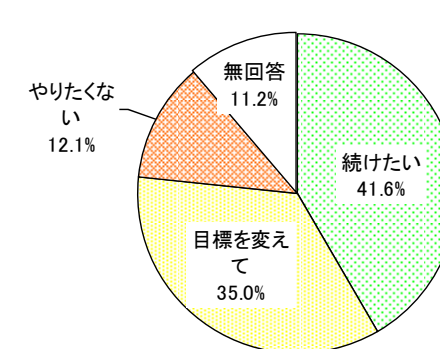


【保護者の感想】

保護者：やってみてどうでしたか？
（全体）

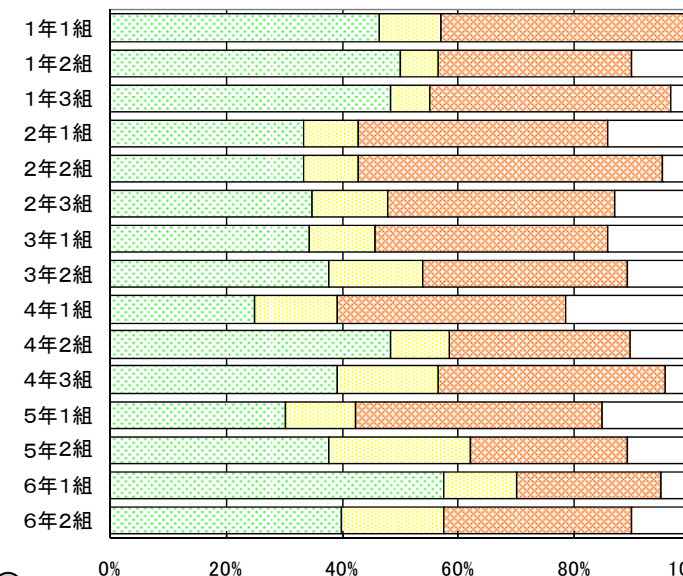


保護者：これからも続けたいですか？
（全体）



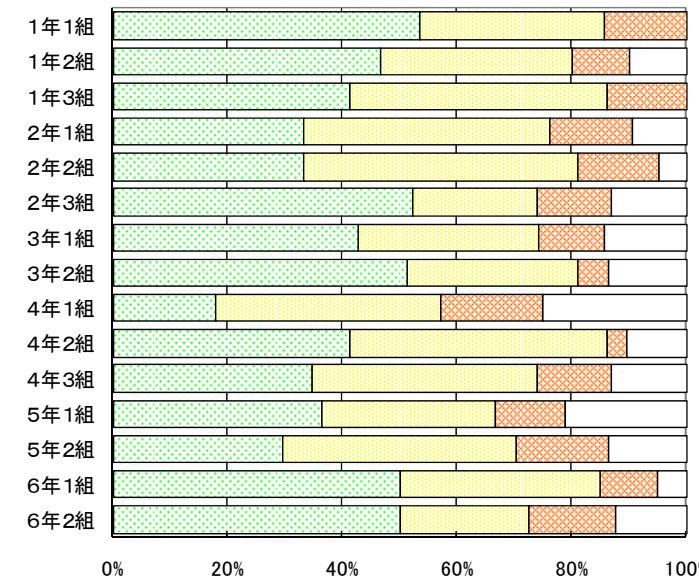
保護者：やってみてどうでしたか？

□効果があった □効果なし □どちらも言えない □無回答



保護者：これからも続けたいですか？

□続けたい □目標を変えて □やりたくない □無回答



まとめ

今回も多くの方に「ノーテレビ・ノーゲーム」の取り組みに対してご協力頂き、ありがとうございました。前回の夏休みの取り組み結果と比較して、より多くの保護者の方に「効果があった」「続けたい」と感じて頂けたようです。

その反面、「効果なし」「やりたくない」と感じられた保護者が増えていることも事実です。今後、本活動の取り組み方法をさらに改善していく必要があると感じました。夏休みと違い、平日と休日で目標が同じというのは難しいという意見、テレビも番組も様々でコミュニケーションの話題にもなるという意見、各家庭に応じた取り組み方で続けられればよいという意見など多くのご意見をいただきました。

テレビ、ゲームに接する時間が子供たちの脳に与える悪影響をご理解頂き、ダラダラとテレビ、ゲームをせず、生活リズムを大切に、親子のふれあいを大切にするのがこの取り組みの趣旨です。この趣旨に沿った活動を今後も継続していきたいと考えておりますので、今後とも、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

川島隆太氏は「誰かと話をする、特に家族やよく知っている人と話をする事で、子どもたちの前頭前野は大いに活性化します。読み・書き・計算と同じようなトレーニング効果が脳にとってあるのだろうと考えています。お母様、お父様方がお子さんと話をする事が、実は家庭の中で子どもたちの能力を伸ばす、頭のいい子を育てるすごく大きな秘訣なのです。」と語っています。

私たちが大切にしている「親子のふれあい」には、もう一つ大きな意味があることを知りました。

＜頂いたご意見、ご感想＞

- たくさんのご意見、ご感想をいただきありがとうございました。
- 時間を決めたため、何が一番視たい番組か考えて見るようになった。ダラダラ見ることがなくなり、良かった。
 - 平日と休日の目標設定が同じというのは難しい。平日と休日で目標設定は変えたほうがよい。
 - 目標設定が甘いこともありできた。次やるときは少なめの設定にしたい。
 - 今まであまりやらなかったトランプや他の遊びをするようになり、ゲームやテレビより姉妹との交流が多くなりよかった。
 - 一口にテレビといっても、ニュース、アニメと単純に時間設定しても効果は感じられない。子供との会話やコミュニケーションの時間を増やすためのノーテレビ・ノーゲームというだけでなく、テレビやゲームを通してのコミュニケーションも“有り”だと思う。
 - カード(取り組み表)があっても、適当に書いていただけなので無駄だと思う。それぞれの家庭で決めてやればよいのではないかな。
 - 子供が3人いるため、小学生だけノーテレビ・ノーゲームは難しい。
 - 本人も家族も時間を意識して過ごしたことができたので、今後も大事にしていきたい。
 - 帰宅後の過ごし方や、休日の過ごし方を改めて考えるよい機会になった。学校生活以外の生活の場の時間の過ごし方は、子供にとって心や身体のリズムを整え元気に生きていく源になると思った。